



基本情報	リストNo	25-001	施設コード	30001	所管課	本庁	上下水道部上下水道総務課	
	施設名	住吉庁舎		施設	上下水道部上下水道総務課			
	人員数	正規職員(人)	146	会計年度任用職員(人)	27	再任用(人)	11	
複合施設								
関連政策名								
安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
施設運営分析	設置目的(再掲)							
	浜松市上下水道部の主たる事務所及び災害時の上下水道復旧部の対策本部							
	主な業務内容	上下水道施設工事及び維持、給排水申込関連、検針及び料金 他						
	主な利用者	市民、事業者等						
	設置目的の継続性・妥当性							
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	一定の利用者があり、需要は確保されている。						
	特記事項	平常時・災害時問わず現在必要な施設である。						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
		事業①	—	2023	—	—	—	—
2022				—	—	—	—	
2021				—	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
	2021		—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	築後30数年経過し、老朽化した設備もみられる。						
	対応策	財政事情を考慮し、各設備は修繕を基本とし継続活用していく。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	災害時の本部及び水道基地として位置付けられていること及び敷地内に配水池を有しているため、民活導入にあたっては、慎重に検討する必要がある。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	7,436	9,970	9,591	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	利用実態や地域性、施設機能の特性などに十分配慮する中で、拠点的な施設は、他の施設機能の複合化や公共空間の積極的な活用を進めます。その上で、拠点的な施設については、指定管理者制度など民間ノウハウの活用による運営の拡大や長寿命化に取り組めます。それ以外の施設は、従来の公共サービスの提供手法を見直し、利用団体への管理主体変更や民間への移管、代替サービスへの転換、他施設への複合化を進めます。							
	利用用途別分類の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
効率的な事務スペースの配置を不断に実施する中で、適切な維持管理に努める。災害時には、上下水道復旧部の対策本部として使用することを踏まえ、通信、自家発電設備等の必要な設備について随時更新する。									

リストNo	25-002	施設コード	30002	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	常光浄水場			
所在(町名・番地)	中央区常光町1220-1			
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域			
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
	施設	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	市域の広がりと給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活用水の多様化による生活用水の増加等に対応するため、天竜川からの伏流水を確保し、昭和53年に常光浄水場が完成した。			
主な利用者	—			
運営形態	施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間	2022/04/01 ~			
管理者名	クボタ環境エンジニアリング(株)			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	4,875.49	土地面積 76,724.90	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 72,492.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 4,232.90
	建築年月日(主要建物)	1977/3/31		
経過年数(主要建物)	47	代表地目(現況地目) 水道用地		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	39	39	39
	収入計(A)	39	39	39
支出(千円)	人件費	0	0	7,000
	物件費(委託料)	11,993	20,701	16,002
	維持補修費(修繕費)	29,806	86,615	19,458
	物件費(光熱水費)	114,828	177,789	109,698
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	156,627	285,105	152,158	
行政コスト(B-A)	156,588	285,066	152,119	
収支前年比	54.93	187.40	95.82	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	水管橋耐震補強工事	75,282	2022	ろ過池屋根修繕工事	73,930
2023	流量計外更新工事	9,790	2022	常光浄水場外9施設電気設備修繕工事	11,101
2023	次亜塩注入設備更新工事	137,436	2021	常光浄水場浄化槽改修工事	24,868
2023	水質計器取替設置工事	13,145	2021	常光浄水場外灯取替修繕工事	3,410
2023	電気設備修繕工事	11,560	2021	常光浄水場外8施設電気設備修繕工事	11,272
2023	ろ過池走行台ワイヤー等修繕工事	11,000	2020	改工第6号 常光浄水場水管橋取水ポンプ改修工事→事務負担	189,219

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
03-084	恒武会館	コミュニティ	1.7
14-010	東消防署上石田出張所	地域	1.7
07-022	とよにしっこ放課後児童会	生活	1.7
08-027	豊西幼稚園	生活	1.7
01-012	東行政センター	地域	1.8
15-033	豊西小学校	生活	1.9
12-005	総合産業展示館	市域	1.9



基本情報	リストNo	25-002	施設コード	30002	所管課	本庁	上下水道部浄水課	
	施設名	常光浄水場			施設	上下水道部浄水課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		市域の広がりや給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活用水の多様化による生活用水の増加等に対応するため、天竜川からの伏流水を確保し、昭和53年に常光浄水場が完成した。						
		主な業務内容	水の供給					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		一定の利用者があり、需要は確保されている。					
	特記事項		平常時・災害時問わず現在必要な施設である。					
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	省エネ対策の実施						
	対応策	配水ポンプの更新に伴う省エネ機器の導入及び小型化の検討						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民活導入	運転管理等の業務委託							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	32,117	58,469	31,201	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									

リストNo	25-003	施設コード	30003	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	大原浄水場			
所在(町名・番地)	中央区大原町50			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
	施設	上下水道部浄水課	課長名 鈴木 正人	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	市域の広がりと給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活様式の多様化による生活用水の増加等に対応するため、三方原用水事業からの水利を確保し、昭和45年に大原浄水場が完成した。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	8,745.91	土地面積 164,275.91	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	2		うち所有面積 156,738.40
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 7,537.51
	建築年月日(主要建物)	1970/4/1		
経過年数(主要建物)	54	代表地目(現況地目) 水道用地		
用途地域	市街化調整区域			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	92	376	132
	収入計(A)	92	376	132
支出(千円)	人件費	115,200	115,903	118,600
	物件費(委託料)	35,490	58,678	36,591
	維持補修費(修繕費)	159,791	108,148	147,859
	物件費(光熱水費)	28,340	33,156	23,282
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	338,821	315,885	326,332	
行政コスト(B-A)	338,729	315,509	326,200	
収支前年比	107.36	96.72	95.04	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2023	沈殿池北側通路フェンス設置工事	7,150	2023	2系フラッシュミキサー改修工事	15,950
2023	南管理棟1階水質検査室空調設備改修工事	21,171	2023	混和池電気設備改修工事	10,527
2023	検水ポンプ改修工事	4,675	2023	1系沈殿池フロキュレーター改修工事	20,350
2023	中央監視設備改修工事	30,898	2023	電気設備修繕工事	5,161
2023	1系ろ過池走行台設備等改修工事	42,818	2023	脱水機付帯設備修繕工事	45,100
2023	流量計改修工事	23,045	2023	脱水機修繕工事	9,350

近隣施設				
No	施設名	圏域種別	距離(km)	
14-065	浜松第30分団	コミュニティ	1.2	
14-084	浜名分団内野	コミュニティ	1.5	
05-007	平ロススポーツ施設	市域	1.5	
07-059	ラッコクラブ	生活	1.7	
15-079	内野小学校	生活	1.7	
08-067	内野幼稚園	生活	1.7	
17-009	万葉の森公園	地域	1.9	
15-138	浜名中学校	生活	1.9	



基本情報	リストNo	25-003	施設コード	30003	所管課	本庁	上下水道部浄水課
	施設名	大原浄水場		施設	上下水道部浄水課		
	人員数	正規職員(人)	14	会計年度任用職員(人)	1	再任用(人)	4
複合施設	—						
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		市域の広がりや給水区域の広域化による大幅な給水人口の増加や、生活様式の多様化による生活用水の増加等に対応するため、三方原用水事業からの水利を確保し、昭和45年に大原浄水場が完成した。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		一定の利用者があり、需要は確保されている。				
	特記事項		平常時・災害時問わず現在必要な施設である。				
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	今後の施設更新と維持管理に対する課題 ・水道施設の老朽化による、修繕及び更新費用の増大 ・将来的な水需要の減少による水道施設能力の見直し					
	対応策	・施設の更新費用を抑制し平準化を図るとともに、修繕にて延命化を行う。 ・大原浄水場の配水区域を見直し施設規模の適正化を図る					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	運転管理等の業務委託						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	38,730	36,075	37,297	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)		
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								



基本情報	リストNo	25-004	施設コード	30004	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	伊平ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・遠州広域水道(太田川系)の受水地点となる					
		主な業務内容	伊平ポンプ場から仏坂配水池への送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。					
特記事項	—						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
			2020	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
2021			—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応、2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング					
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	126,647	153,250	103,981	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
	<p>建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)</p> <p>※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。</p>				<p>利用状況等による評価(横軸)</p>			
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								

リストNo	25-005	施設コード	30005
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	金指西水源		
所在(町名・番地)	浜名区引佐町金指 1658-5		
利用者の圏域別分類等	— 非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に供給するための自己水源。 ・谷津ポンプ場に送水		
主な利用者	—		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	~		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	5.40	土地面積 261.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1983/3/31	
土地情報	うち所有面積	261.00	うち借地面積 0.00
	代表地目(現況地目)	雑種地	
用途地域	第一種中高層住居専用地域		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	36	60	31
	維持補修費(修繕費)	37	34	0
	物件費(光熱水費)	980	1,268	816
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	1,053	1,362	847	
行政コスト(B-A)	1,053	1,362	847	
収支前年比	77.31	160.80	104.18	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
全戸数	—	—	—	
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-013	谷津ポンプ場	—	1.0
26-020	金指汚水中継ポンプ場	—	0.3
15-060	金指小学校	生活	0.3
13-052	坂田団地	地域	0.4
07-054	金指放課後児童会	生活	0.5
13-049	金指団地	地域	0.5
08-058	金指幼稚園	生活	0.7
26-018	井伊谷浄化センター	—	0.8
14-019	北消防署	地域	0.9



基本情報	リストNo	25-005	施設コード	30005	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	金指西水源		施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に供給するための自己水源。・谷津ポンプ場に送水					
		主な業務内容	金指西水源から谷津ポンプ場への導水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		主要な水源であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。				
	特記事項		—				
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
—		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング					
	対応策	1. 日々の施設運営管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	195,000	252,222	156,852	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)					
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—		
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-006	施設コード	30006	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	施設名	寺野加圧ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		寺野西部高区地区へ配水するための配水ポンプ場						
		主な業務内容	水の供給					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	給水世帯 高齢者 2世帯。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	世帯の高齢化により需要は減少しているが、供給の義務は求められる。					
		特記事項	需要が無くなれば廃止検討					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	施設の老朽化が進み、将来の水需要が見込まれないことから、施設更新が困難である。						
	対応策	日常点検を充実し、機械的なトラブルを極力少なくする。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—				
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	19,394	32,727	69,394	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-007	施設コード	30007	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	寺野浄水場		施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		寺野水源から受水した水を寺野地区へ配水する為					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。			
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。			
	特記事項						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	
	—	2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 水道施設の耐震不足や老朽化による施設・設備等の改築更新事業費の増大 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング					
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の優先化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	84,848	237,273	520,303	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								

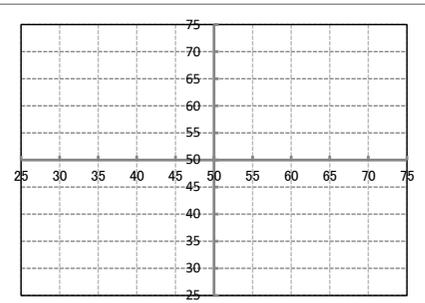
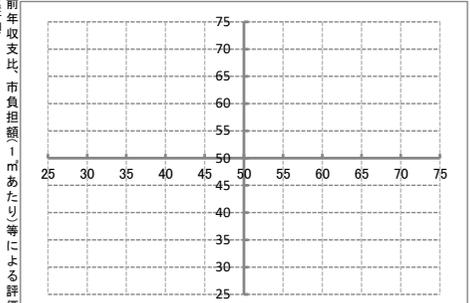


基本情報	リストNo	25-011	施設コード	30008	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	施設名	西黒田加圧ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		西黒田配水池(西黒田高区地区)へ送水する為						
		主な業務内容	水の供給					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		人口減少による需要量の減少は見込まれる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応						
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	45,885	53,086	52,263	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。                 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-012	施設コード	30009	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	川合湖ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		西久留女木配水池へ送水する為。					
		主な業務内容	水の供給				
		主な利用者	—				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		人口減少による需要量の減少は見込まれる。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。				
	特記事項		現在浄水機能は停止中、送水ポンプ場として西久留女木配水池へ送水している。				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	のべ募集人員	参加者数	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—		
		2022	—	—	—		
		2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設、設備のダウンサイジング 4. 現在、国有林内を無償借地している為、施設縮小に当り不要施設の撤去並びに返地の検討。					
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設、設備のダウンサイジングの検討及び返地に当り施設の再配置の検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
統廃合	—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民生活導入	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	12,752	17,408	20,336	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								

リストNo	25-013	施設コード	30010	
利用用途別分類(施設分類)	上下水道			
施設名	谷津ポンプ場			
所在(町名・番地)	浜名区引佐町井伊谷 3210			
利用者の圏域別分類等	—	非中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・2自己水源(金指西、坂田水源)から受水し、伊平ポンプ場へ送水している。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	79.02	土地面積 1,001.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1994/3/31		
経過年数(主要建物)	30	土地情報	うち所有面積 1,001.00	
用途地域	市街化調整区域			
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	349	337	317
	維持補修費(修繕費)	0	58	681
	物件費(光熱水費)	4,567	5,127	3,471
	物件費(借地料)	10	10	10
支出計(B)	4,926	5,532	4,479	
行政コスト(B-A)		4,926	5,532	4,479
収支前年比		89.05	123.51	87.34
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	令和2年度 水改修北第8号 谷津ポンプ場エアーチャンバー更新工事	12,980			
2019	令和元年度 水改修北第8号 谷津ポンプ場併用長電機更新工事	22,770			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-005	金指西水源	—	1.0
26-018	井伊谷浄化センター	—	0.5
13-060	井伊谷団地	地域	0.5
14-072	引佐第1分団井伊谷	コミュニティ	0.6
15-066	井伊谷小学校	生活	0.7
08-058	金指幼稚園	生活	0.7
07-052	井伊谷放課後児童会	生活	0.7
15-060	金指小学校	生活	0.7
08-048	引佐幼稚園	生活	0.7



基本情報	リストNo	25-013	施設コード	30010	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	施設名	谷津ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	金計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		・旧中部簡水区域全域(引佐町北部)に送水(給水)するため。・2自己水源(金指西、坂田水源)から受水し、伊平ポンプ場へ送水している。						
		主な業務内容	谷津ポンプ場から伊平ポンプ場への送水					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。					
	特記事項		—					
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
事業④	—	2023	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング						
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
管理主体変更		—	—	—	—			
民生活導入	代替サービス	—	—	—	—			
	統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—				

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	62,339	70,008	56,682	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)							
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性 利用用途別分類毎の方向性 公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。							
	今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。								
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-014	施設コード	30011	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課
	施設名	引佐中継ポンプ場			施設	施設	上下水道部北部上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
施設運営分析	複合施設	—					
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		・旧中部簡水区域(引佐町川名地区)に送水(給水)するため。・別所配水池より受水し中央配水池へ送水するための中継ポンプ場					
		主な業務内容	中継ポンプ場から中央配水池へ送水				
		主な利用者	—				
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか					
		人口減少による需要量の減少は見込まれる。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測					
		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。					
特記事項	—						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数
		—	2022	—	—	—	—
		—	2021	—	—	—	—
		—	2020	—	—	—	—
	事業②	—	2023	—	—	—	—
		—	2022	—	—	—	—
		—	2021	—	—	—	—
	事業③	—	2023	—	—	—	—
		—	2022	—	—	—	—
	事業④	—	2023	—	—	—	—
		—	2022	—	—	—	—
—		2021	—	—	—	—	
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応 2. 老朽化による施設・設備等の改築更新 3. 需要量の減少に伴う施設・設備のダウンサイジング					
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施 2. アセットマネジメント導入による更新計画の策定及び事業の平準化 3. 更新計画策定において需要見込みを考慮した施設・設備のダウンサイジングの検討					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
代替サービス		—	—	—	—		
民活導入	統廃合	—	—	—	—		
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	76,198	108,395	96,741	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)			供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)			
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)		
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性						
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								



基本情報	リストNo	25-015	施設コード	30012	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	中代中継ポンプ場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		西久留女木配水池より受水し、中代高区配水池へポンプ圧送している。								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少による需要量の減少は見込まれる。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。						
	特記事項			—						
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数	—		
		—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
	事業②	—	2023	—	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
	事業③	—	2023	—	—	—	—	—		
		—	2022	—	—	—	—	—		
		—	2021	—	—	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—	—	—			
	—	2022	—	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	1. 施設設備等の突発的な事故や故障による対応								
	対応策	1. 日々の施設運転管理の充実と予防保全の実施								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民生活導入	—									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	56,173	80,658	151,235	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。								

施設カルテ 2024

リストNo	25-016	施設コード	30013	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	日比平配水場			
所在(町名・番地)	浜南区引佐町田沢 557-5			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
	施設	上下水道部北部上下水道課	課長名 杉山 太一	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	田沢高区、別所北部地区への配水と珍携配水池へ送水する為。			
主な利用者	—			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	~			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	1.74	土地面積 317.00	
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 317.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1998/3/31		
経過年数(主要建物)	26	代表地目(現況地目) 水道用地		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	5	5	5
	収入計(A)	5	5	5
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	25	46	21
	維持補修費(修繕費)	0	0	17
	物件費(光熱水費)	15	17	18
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	40	63	56	
行政コスト(B-A)		35	58	51
収支前年比		60.34	113.73	11.41
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設					
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)	
その他の分類	15-134	引佐北部小学校・中学校	生活	0.9	
	08-055	引佐北部みさと幼稚園	生活	1.0	
施設周辺地図情報					

基本情報	リストNo	25-016	施設コード	30013	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課	
	施設名	日比平配水場			施設	施設	上下水道部北部上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—	
施設運営分析	複合施設	—						
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道						
	設置の妥当性	設置目的(再掲)						
		田沢高区、別所北部地区への配水と珍携配水池へ送水する為。						
		主な業務内容	水の供給					
		主な利用者	—					
		設置目的の継続性・妥当性						
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		人口減少による需要量の減少は見込まれる。					
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。					
	特記事項		—					
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
	事業①	—	2023	—	のべ募集人員	—	参加者数	—
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	
			2022	—	—	—	—	
			2021	—	—	—	—	
			2020	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	
2022			—	—	—	—		
2021			—	—	—	—		
2020			—	—	—	—		
事業④	—	2023	—	—	—	—		
		2022	—	—	—	—		
		2021	—	—	—	—		
		2020	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)								
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	水道施設の老朽化が進行し、老朽施設の維持管理、更新費用の増大が見込まれる。						
	対応策	使用年数の長寿命化や適性な規模への縮小、将来の水需要を検証しつつ、更新が必要な施設を見極め統廃合するなど、更新コストの縮減を図る。						
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄		
		廃止	—	—	—	—		
		民間移管	—	—	—	—		
		管理主体変更	—	—	—	—		
		代替サービス	—	—	—	—		
統廃合		—	—	—	—			
複合化	—	—	—	—				
広域化	—	—	—	—				
民生活導入	—							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	20,115	33,333	29,310	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-017	施設コード	30014	所管課	本庁	上下水道部北部上下水道課			
	施設名	仏坂配水場			施設	上下水道部北部上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水と快適な生活、社会環境を水循環で支える上下水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		伊平ポンプ場より受水し、引佐北部全地区へ送水する重要施設。								
		主な業務内容	水の供給							
		主な利用者	—							
	設置目的の継続性・妥当性	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか								
		主要な送水拠点であるが、人口減少による需要量の減少は見込まれる。								
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測								
		需要の減少は見込まれるが、市民生活がある限り供給の義務は求められる。								
特記事項	—									
主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①			2023	—	のべ募集人員	参加者数	—		
				2022	—			—		
				2021	—			—		
	事業②			2023	—			—		
				2022	—			—		
				2021	—			—		
	事業③			2023	—			—		
				2022	—			—		
				2021	—			—		
事業④			2023	—			—			
			2022	—			—			
			2021	—			—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	水道施設の老朽化が進行し、老朽施設の維持管理、更新費用の増大が見込まれる。								
	対応策	使用年数の長寿命化や適性な規模への縮小、将来の水需要を検証しつつ、更新が必要な施設を見極め統廃合するなど、更新コストの縮減を図る。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
民生活導入	統廃合	—	—	—	—					
	複合化	—	—	—	—					
広域化	—	—	—	—						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	19,674	28,478	96,196	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民生活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める。									



基本情報	リストNo	25-018	施設コード	30015	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧浦川簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-89,132	-161,934	-88,238	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								



基本情報	リストNo	25-019	施設コード	30016	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧横山町簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-503,875	-22,875	-476,125	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								



基本情報	リストNo	25-020	施設コード	30017	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧横川簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	25,198	47,667	50,481	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める									



基本情報	リストNo	25-021	施設コード	30018	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧簡易水道新道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-98	4,510	9,118	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-022	施設コード	30019
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧気多簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区春野町宮川996-5		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	21.74	土地面積 2,860.00
	構造(主要建物)	木造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1996/4/1	
土地情報	うち所有面積	2,860.00	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)	水道用地		
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	20,480	20,854	21,707
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	2	2	0
	収入計(A)	20,482	20,856	21,707
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,781	2,626	2,248
	維持補修費(修繕費)	7,736	9,064	966
	物件費(光熱水費)	3,088	4,203	2,977
	物件費(借地料)	57	57	57
支出計(B)	12,662	15,950	6,248	
行政コスト(B-A)	-7,820	-4,906	-15,459	
収支前年比	159.40	31.74	227.61	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
2020	春野町宮川浄水場急速ろ過機修繕工事	4,642			
2019	令和元年度 春野町平木浄水場急速ろ過装置塗装工事	6,588			

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-046	宮川水道倉庫	—	1.5
13-071	気田団地	地域	0.0
02-014	気田地区教職員住宅	地域	0.0
16-013	春野学校給食センター	地域	0.3
15-142	春野中学校	生活	0.3
04-041	旧王子製紙製品倉庫	文化財	0.3
13-090	平木団地特定公共賃貸住宅	地域	0.3
08-077	気田幼稚園	生活	0.5
15-088	気田小学校	生活	0.5



基本情報	リストNo	25-022	施設コード	30019	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧気多簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-359,706	-225,667	-711,086	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								



基本情報	リストNo	25-023	施設コード	30020	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧熊市場簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賅いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-3,261	28,304	-49,696	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-024	施設コード	30021
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧月簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区月755-2		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	9.00	土地面積 131.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1999/4/1	
経過年数(主要建物)	25	うち所有面積 131.00	うち借地面積 0.00
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	645	723	706
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	645	723	706
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	294	236	725
	維持補修費(修繕費)	1,374	389	145
	物件費(光熱水費)	94	119	100
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	1,762	744	970
行政コスト(B-A)		1,117	21	264
収支前年比		5319.05	7.95	112.82
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	05-027	天竜林業体育館	地域	0.3
	16-007	天竜自然体験センター湖畔の家	市域	0.3
	05-024	天竜ボート場艇庫	地域	0.4
	04-031	相津マリーナ	地域	1.1
	14-107	天竜第7分団相津	コミュニティ	1.2
	05-032	伊砂ボートパーク艇庫	地域	1.8



基本情報	リストNo	25-024	施設コード	30021	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧月簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	124,111	2,333	29,333	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-025	施設コード	30022	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	向島浄水場			
所在(町名・番地)	天竜区水窪町地頭方794-2			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	11.64	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	木造		
	地上階数(主要建物)	1		
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—		
	耐震工事(主要建物)	-		
	建築年月日(主要建物)	1975/12/1		
	経過年数(主要建物)	48		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	—
	国・県	—	—	—
	寄付金	—	—	—
	その他	—	—	—
	市債	—	—	—
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	279	277	296
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	279	277	296
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	156	405	346
	維持補修費(修繕費)	172	2,039	2,153
	物件費(光熱水費)	436	561	480
	物件費(借地料)	27	27	27
支出計(B)	791	3,032	3,006	
行政コスト(B-A)		512	2,755	2,710
収支前年比		18.58	101.66	281.41
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
25-021	旧簡易水道新道	—	0.7
25-029	上村配水池	—	0.9
25-042	尾呂第2配水場	—	1.6
04-055	水窪観光展示休憩所	小規模等	0.7
01-028	水窪支所	地域	0.7
04-027	水窪民俗資料館	地域	0.8
04-039	民俗資料館旧久保邸	文化財	0.8
03-018	水窪文化会館	地域	0.8
10-018	水窪高齢者交流センター	地域	0.8
15-095	水窪小学校	生活	0.8
14-142	水窪第1分団第1部本町詰所	コミュニティ	0.9



基本情報	リストNo	25-025	施設コード	30022	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	向島浄水場			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
		—	2020	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
	—	2021	—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	43,986	236,684	232,818	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価									
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)				利用状況等による評価(横軸)				
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								



基本情報	リストNo	25-026	施設コード	30023	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧佐久間簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賅いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	11	-38,417	-56,009	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-028	施設コード	30025
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧若身簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区春野町堀之内150-4		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	25.92	土地面積 3,440.43
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	—	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1969/6/1	
土地情報	うち所有面積	3,440.43	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)	水道用地		
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	12,921	14,345	14,864
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	12,921	14,345	14,864
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,707	2,046	2,749
	維持補修費(修繕費)	33	2,050	1,695
	物件費(光熱水費)	2,328	3,143	2,225
	物件費(借地料)	0	0	0
支出計(B)	4,068	7,239	6,669	
行政コスト(B-A)	-8,853	-7,106	-8,195	
収支前年比	124.58	86.71	77.42	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
14-121	春野第1分団犬居	コミュニティ	0.3
03-020	春野ふれあい公園集会所	地域	0.4
18-059	旧南中学校(春野)	地域	0.7
02-015	犬居地区教職員住宅	地域	0.8
14-123	春野第1分団西領家	コミュニティ	0.8
13-073	若身団地	地域	0.8
08-078	犬居幼稚園	生活	0.9
15-091	犬居小学校	生活	0.9

施設周辺地図情報	

基本情報	リストNo	25-028	施設コード	30025	所管課	本庁	上下水道部 天竜上下水道課
	施設名	旧若身簡易水道			施設	上下水道部 天竜上下水道課	
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。					
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給				
		主な利用者	給水区域内の住民				
		設置目的の継続性・妥当性					
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか		人口減少傾向でわずかに減少している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測		今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。				
	特記事項		—				
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況	
事業①		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業②		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賅いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。					
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
統廃合		—	—	—	—		
複合化	—	—	—	—			
広域化	—	—	—	—			
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-341,551	-274,151	-316,165	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
（縦軸）利用状況、前年収支比率等による評価					（縦軸）前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								



基本情報	リストNo	25-029	施設コード	30026	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	上村配水池			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
			2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
			2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
			2022	—	—	—	—			
	2021		—	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-14,342	49,868	-55,921	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸) 利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸) 前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-030	施設コード	30027	
利用用途別分類(施設分類)	上水道			
施設名	旧城西簡易水道			
所在(町名・番地)	天竜区佐久間町相月2526			
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域		
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介	
設置根拠(法)	地方公営企業法			
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者	給水区域内の住民			
運営形態	直営			
指定管理または包括管理委託等の期間	～			
管理者名	—			
開館時間	—			
建物情報	総延床面積	10.90	土地面積 0.00	
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造		
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積 0.00
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新		
	耐震工事(主要建物)	-		うち借地面積 0.00
	建築年月日(主要建物)	1990/3/1		
経過年数(主要建物)	34	代表地目(現況地目)		
用途地域	都市計画区域外			
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
財源	設置事業費	—	—	
	国・県	—	—	
	寄付金	—	—	
	その他	—	—	
	市債	—	—	
一般財源	—	—	—	
特記事項	—			



項目	2023	2022	2021	
収入(千円)	使用料・手数料	3,022	3,421	3,619
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	3,022	3,421	3,619
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	544	525	534
	維持補修費(修繕費)	3,256	307	4,010
	物件費(光熱水費)	599	711	575
	物件費(借地料)	71	71	71
支出計(B)	4,470	1,614	5,190	
行政コスト(B-A)	1,448	-1,807	1,571	
収支前年比	-80.13	-115.02	1428.18	
(参考)指定管理料	0	0	0	
(参考)減価償却費	0	0	0	
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
クラス数	—	—	—	
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-139	佐久間第2分団松島	コミュニティ 0.4
	13-077	芋堀団地	地域 0.6
	03-064	城西ふれあいセンター	生活 0.6
	04-040	高根城復元施設	文化財 1.5
	26-025	城西浄化センター	— 1.5



基本情報	リストNo	25-030	施設コード	30027	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧城西簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
施設運営分析	複合施設	—								
	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。							
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
		特記事項	—							
主要事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況					
	事業①	—	2023	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	—	
	事業②	—	2023	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	—	
	事業③	—	2023	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
		—	2021	—	—	—	—	—	—	
	事業④	—	2023	—	—	—	—	—	—	
		—	2022	—	—	—	—	—	—	
—		2021	—	—	—	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賅いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合	—	—	—	—						
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	132,844	-165,780	144,128	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-032	施設コード	30029
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	西浦浄水施設		
所在(町名・番地)	天竜区水窪町奥領家5296-1		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	18.90	土地面積 0.00
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1990/4/1	
土地情報	うち所有面積	0.00	
	うち借地面積	0.00	
代表地目(現況地目)			
用途地域	都市計画区域外		
区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計
財源	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
一般財源	—	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	1,378	1,665	1,654
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,378	1,665	1,654
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	97	448	440
	維持補修費(修繕費)	5,539	253	1,548
	物件費(光熱水費)	304	372	326
	物件費(借地料)	35	35	35
支出計(B)	5,975	1,108	2,349	
行政コスト(B-A)		4,597	-557	695
収支前年比		-825.31	-80.14	-191.46
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設			
No	施設名	圏域種別	距離(km)



基本情報	リストNo	25-032	施設コード	30029	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	西浦浄水施設			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
	設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。						
	特記事項			—						
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況				
事業①		—	2023	—	—	のべ募集人員	参加者数			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業②		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—	—			
		—	2022	—	—	—	—			
		—	2021	—	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賅いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
統廃合		—	—	—	—					
複合化	—	—	—	—						
広域化	—	—	—	—						
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	243,228	-29,471	36,772	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸) / 供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸) / 財務評価(縦軸)						
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	<p>公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。</p> <p>今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。</p>							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								